

市役所の仕事を市民目線で点検



第10回の外部評価委員会で市長らに評価結果を説明

部評価委員会を設置して評価を行っています。一般の市民や学識経験者などで構成する同委員会は、市民目線で市の仕事を評価し、その方向性を示すことで改革や改善を促します。

今年度は10の事務事業を評価

今年度の外部評価委員会は10回の会議を開催し、10の事務事業について評価しました。今年度評価した事務事業のうち主なものと、同委員会から出された提言は次のとおりです。

- ▼定住促進事業 他の都市よりも柳川に住んだほうが良いという利点をPRし、人を呼び込むために他の部署と連携して総合的に取り組んでもらいたい
- ▼コミュニティバス運行事業 住民側にもっと利用して運行を支えてほしいが、そのためにはバスの利用状況などを住民に伝えてほしい
- ▼在宅介護支援センター事業 福祉・医療分野の制度は変化が激しいので、地域包括支援センターや民生委員などとの連携を深め、うっかりサービスを受けられない人が出ないように体制づくりを進めてほしい
- ▼健康まつり事業 他の部署が行うイ

ベントとの合同開催など、違う分野との相乗効果を狙ってみてはどうか。イベントとしてもう少し遊び心を

▼市民相談事業 より多くの市民の利用を受け付けるために、相談回数や利用上限の設定を検討すべき

▼駐車場管理事業 一般客にも分かりやすい導線サインの表示と周知に工夫が必要。月極やイベントの開催など他の利用方法も検討してほしい

▼不法投棄対策事業 不法投棄を防ぐため、パトロールのルートも重点的に行ってはどうか

昨年度の改善報告と提言

同委員会では、昨年度に評価の対象となった事業がどのように改善されたか、市から説明を受けました。主な事業と同委員会の提言は次のとおり。

- ▼がん検診事業 受診日の拡大や日曜、祝日の開催を開始したことを高く評価。年代や性別で分析するなど、検診結果の公表をしてはどうか
- ▼図書館利用促進事業 武雄市立図書館の改修などで公立図書館が目目されているため、周辺自治体のやり方を研究しては。また、寄贈を求める本を積

極的に情報発信してはどうか

▼景観広報啓発事業 読みづらさを改善して作成した景観啓発冊子などを報告。今後、市民へ景観の将来像を示すようなものを検討してはどうか

1月22日に開催した第10回委員会では、加留部貴行会長から金子市長に評価結果の説明があり、その後に意見交換を行いました。金子市長ら三役は、企業立地等促進事業について起業家支援をはじめ幅広く実施することや、定住促進についておもてなし事業と共に入力を入れていくと説明しました。

市は同委員会の評価を受けて、健康まつりでのアンケートの実施や不法投棄防止啓発ステッカーを貼る車を増やすなどとして、できることから改善に努めています。

同委員会は、行政評価制度の見直しのため一時休止し、今後より分かりやすく、市民に開かれた制度への再構築を検討します。また、同委員会の取り組みは、市公式サイトにも掲載しています。問い合わせは、市企画課企画係(☎77・8423)まで。

新しいうまかもん 22 商品がお披露目

もれなく総額 10 万円の商品券が当たるスタンプラリーは 3 月 31 日まで



参加者は参加店舗と新商品について話をしながら試食

「いちじく」「海苔」「芝エビ」で 22 商品が完成

柳川ブランド推進協議会は 1 月 25 日、うまかもんづくりぐっちゃ 4 で開発された商品の完成発表会を、水の郷ホールで開きました。柳川で採れる農水産物を使って新しい名産品を作ろうと、今回は柳川産の「いちじく」「海苔」「芝エビ」を使って、市内の 11 業者が計 22 商品を完成させました。

できた新商品は、和菓子や洋菓子、パン、中華、洋食、佃煮、ドレッシングなど多種多様。会場には、ブランド推進事業の関係者の他、応募した一般の消費者約 100 人が新商品を試食。訪れた人は、参加店舗に新商品の特徴などを聞きながら味わっていました。

スタンプラリーは総額 10 万円の商品券を山分け!

新商品のキャンペーン「食べめせ柳川」スタンプラリーを 3 月 31 日まで開催。参加店舗を回って新商品を購入し、台紙にスタンプを押して応募すると、総額 10 万円の商品券がもれなく当たります。5 スタンプ 1 口で応募

でき、商品券は参加者の応募口数で山分け。参加店舗やアンテナショップ「おいでメッセ柳川」で使えます。皆さんふるって参加してください。

●参加店舗・商品 ▶あさがお〜海と大地の恵み〜のリープオイル▶LittleBAL =有明海産 真エビのアヒージョ▶らーめん 龍火=特製えびそば▶中華厨房 川龍=花杏花仁豆腐〜花香るイチジクアンニトウフ〜、「黒」エビチリ▶パン工房 麦麦=柳川いちじくパン、柳川えびカツバーガー▶坂田屋菓子店=いちじくとクリームチーズ大福、柳川いちじくパイ、のり柳▶まよい焼きでんちゃん=エビマヨ、エビピザ、ミニお好み焼き(エビ入り)▶まる勝=ノリピトンバーガー(ブラックソース)▶パティスリー さくら=柳川真えびのパテ入りフォカッチャサンド、柳川いちじくのコンフィテュール、いちじくわらびもち▶紅茶の店 RiverFlow =いちじくのゼリー寒、いちじくと紅茶のゼリー寒▶古賀儀八商店=湯葉海苔、海老ご飯の素(3合用)、野菜が入ったジャム いちじく&トマト



スタンプの台紙付きリーフレットは市役所や参加店舗などで配布

問い合わせは、市柳川ブランド推進室(☎77・8722)まで。

地域の文化財は地域みんなで守ろう

文化財防火デーに崇久寺(東蒲池)で火災想定訓練



訓練は消防団員らによって本番さながらに実施

文化財防火デーの 1 月 26 日、東蒲池の崇久寺で火災想定訓練が行われました。これは、地域の文化財を火災から守ろうと、市教育委員会と市消防本部が主催。地元の消防団や住民、市消防本部の職員など約 100 人が参加しました。

訓練は、同寺の北側炊事場から出火し、初期消火に失敗したため、燃え広がっていると想定。地元の人たちが非常持ち出し品を運び出し、消防団員らがきびきびとした動作で素早く火元までホースをつないで放水しました。その後、同寺の境内で消火器の取り扱い訓練を実施。参加した住民らは、消火器が有効な状況や使用手順などを確認し、文化財への愛護精神と防災への意識を高めました。